

【学校教育目標】 自己をみがく 共につくる (自立と共生の精神)

【めざす学校像】 笑顔 元気 思いやりがあふれる 居心地のよい学び舎

【めざす児童像】

- た：助け合う子
- ち：知恵のある子
- ま：まごころのある子
- ち：力いっぱいがんばる子

【めざす教師像】

- ・子どもを主語に、個に応じた指導・支援ができる教師
- ・社会の状況に柔軟に適応・対応し、問題解決していく教師
- ・児童・保護者・地域から信頼される教師
- ・立待愛にあふれ、目標に向かい一致協力する教師集団

【研究主題】

- 対話を楽しみ 学びを深める子が育つ学校づくり
- ・対話を楽しみ学びを深める 授業づくり
 - ・対話を楽しみ学びを深める子が育つ 教員のあり方
 - ・対話を楽しむ土台となる 学級づくり

【業務改善の取り組み】

- ・授業と児童対応に集中できる環境を整える
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・適正対応
- ・個人に負担が集中しない仕組みづくり
- ・退勤時刻 18:30 まで、時間外在校等時間 45h/月以下

【重点目標】

< 豊かな心の育成 >

- 思いやりの心・自己肯定感の育成
- いじめ・不登校の未然防止

< 確かな学力の定着 >

- 学習規律の徹底と基礎基本の定着
- UD化による分かりやすい授業実践

< 健やかな体の育成 >

- 健康教育の推進と生活習慣の定着
- 進んで運動する子の育成

< 安全で信頼される学校 >

- 家庭・地域と連携した学校づくり
- 積極的な情報発信

【具体的取り組み】

○自分や他者の良さを認められる児童の育成

- ・互いの個性を尊重し、協働し高めあえる学級づくり。
- ・学校行事、人権教育、異学年交流活動等を通し、自己肯定感、自己有用感を醸成する。
- ・考え議論する道徳の授業実践により、道徳的価値の理解や自己理解、他者理解を深め、自らの生き方を高めていこうとする姿勢を身につけさせる。
- いじめ・不登校対策
- ・指針に基づき、いじめ事案や不登校の未然防止と早期発見、適正対応に努める。
- ・児童の困り感に寄り添う、チーム対応に努める。

- ・学校が楽しいと答える児童 : 100%
- ・自分も他者も大切にしている児童 : 90%
- ・進んであいさつができる児童 : 90%
- ・早期対応によるいじめ解決 : 100%

○楽しく、よく分かり、力がつく授業の継続

- ・「シェア授業」で互いの授業を見合い、「ミニ研究会」で授業力向上につなげる。
- ・標準学調、SASA、全国学調等を指標とするPDCAによる指導改善を行う。
- ・ICTを有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。
- 実体験(読書を含む)を伴う活動の充実
- ・図書館や外部人材も活用し、本を手に取り、読書に慣れ親しむ機会を創出する。

- ・授業がよくわかると答える児童 : 95%
- ・ICT活用を進める教師 : 100%
- ・対話を意識した授業の工夫改善に取り組む教師 : 100%
- ・進んで本を読んだ児童 : 85%

○日常的な健康教育・食育の推進

- ・食に関する指導やたより等の活用、学校給食畑の計画的利用により食育の充実を図る。
- 基本的生活習慣の定着
- ・早寝、早起き、朝ごはんの定着を推進する。
- ・正しい姿勢を意識させる。
- ・家庭と連携し、ネット利用時間の適正化などルールやマナーの定着を図る。
- 系統的な体育授業と業間運動の実践
- ・運動量を確保する学習内容や形態を工夫する。

- ・規則正しい生活習慣を守れた児童 : 85%
- ・正しい姿勢の指導を心がけた教師 : 100%
- ・子がネット利用時のルールやマナーを守っていると答える保護者 : 80%
- ・体育の授業や業間運動、体育的行事にめあてをもって取り組む児童 : 95%

○ふるさと教育の推進

- ・ふるさと学習や地域人材を活用した授業を通してふるさとへの愛着と誇りを養う。
- 積極的な情報発信
- ・ホームページや Home&School を用いて広報、啓発活動を充実させる。
- 安心・安全な学校づくり
- ・危機(災害・事故)対応への共通理解をする。
- ・避難、危機回避訓練を計画的に実施する。
- ・スマートルールの徹底や外部講師を活用した情報モラル教育を推進する。

- ・地域人材を活用し、ふるさとや地域の学習に取り組んだ教師 : 90%
- ・学校の教育活動に満足している保護者 : 95%
- ・情報モラルの指導に取り組んだ教師 : 100%